

第3学年 志雄タイム学習指導案

平成17年11月17日(木)

場所 3年2組教室

- 1 単元名 「中間発表会を今後の活動に生かそう」(情報発信・交流)
- 2 ねらい
 - (1)各グループごとに発表し、お互いに情報を共有し、交流する。
 - (2)学年・学校、さらには校外に向け情報を発信する。
 - (3)創造的・創作的活動を通して表現する。
- 3 学習計画(総時数12時間)
＜第1次＞メディア学習 3時間 ＜第2次＞情報発信・交流 6時間(本時5/6)
- 4 題材について
 - (1)教材観
自分なりの課題を設定し様々な方法で情報を収集し成果を得たとしても、それらを他者に理解してもらわなければ、結局自己満足で終わってしまう。新しい教育課程において、得られた情報を発信したり議論したりすることは、生活の中で生きてはたらく力であるとしている。発表の形態や表現の方法は様々であるが、高度な情報化社会に生きていく人間として、得られた情報を広く社会に発信する能力を育てていきたい。
 - (2)生徒の実態
35名の生徒は、それぞれが自分のテーマにおいて取り組みたい目標がはっきりとしているため、毎時間まじめに学習に取り組んでいる。課題設定のきっかけは、個人個人さまざまであるが、共通体験をきっかけとして新しい発見や方向性を見つけた生徒や、自分の将来を見つめたときに、調査したことが自分のなかで大きなものを占めた生徒もいる。
元気で好奇心旺盛な本校の3年生であるため、4月からの様子を見てみると、自分が知りたいことを調べるにはどうしたらよいか、コンピュータ室へ行く、図書館へ出かける、取材に出かけるなどその都度、行動に移す力が出てきている。また、学校の外の人に電話をかけることや、実際に訪問していろいろなことを体験させていただくといったことが積極的に出来るようになってきたたくましさを感じている。
 - (3)指導観
本時では、プレゼンテーション用ソフトを利用して、表現する技能を身につけたこと活用するとともに、他人の発表を聞いてそれらを評価する力や、積極的に議論しようとする態度を身につけようとするのをねらいとした。
- 4 コース別の人数と生徒の様子
 - (1)環境コース・・・・・・14人
環境コースは14名が5つのテーマに分かれて活動している。環境問題は幅広く、テーマの設定にあたって苦労した生徒も少なからずいる。そんな中、共通体験の一環として行われた町外のゴミ焼却施設の見学や地元の環境行政に携わる方の話が、テーマの絞り込みや自分たちの生活との関わりを意識するという点で大いに参考になった。テーマは多岐にわたるが、地球規模のグローバルな問題と旧志雄町を中心とした地域の問題の2つに大別できる。生徒たちは、自分たちの興味と関心にもとづいてまじめに学習に取り組んでいる。
 - (2)福祉コース・・・・・・ 5人

福祉コースは5名の生徒が3つのテーマに分かれて活動している。それぞれが自分のテーマにおいて取り組みたい目標がはっきりとしているため、毎時間まじめに学習に取り組んでいる。課題設定のきっかけは、個人個人さまざまであるが、共通体験や第2学年までの取り組みをきっかけとして新しい発見や方向性を見つけた生徒や、自分の将来を見つめたときに、福祉ということが自分のなかで大きなものを占めた生徒もいる。

(3) 国際理解コース・・・16人

国際理解は16名が7つのテーマに分かれて活動している。志雄町では誘致企業である参天製薬の工場がフィンランドにある関係から、町海外派遣事業として、生徒が訪問しホームステイしながら交流を深めている。国際理解コースの中でも、昨年度訪問した生徒はヨーロッパの祭りに興味を持ち、外国の民族衣装を調べ、自分たちでも製作できないかと考えた。また今年度、フィンランドへ訪問する生徒は、社会科の学習で学んだことを実際に確認したいと、カメラやデジカメ等の準備をし、ホームステイ先での生活に胸をときめかせている。また、料理に興味のある生徒は、町の図書館やコンピュータ室で調べ、調理実習にも挑戦してきた。材料を調達する際、輸入される食材がいかに多いかに驚き、食文化を通しての国際理解に努めている。

6 本時の学習活動

(1) ねらい

- ① 各グループでこれまで調べてきたこと、テーマへの自分の思いや考えを他の人にわかりやすく伝えることができる。
- ② 他グループの情報発信から学び、自分の考えを持つことができる。

(2) 準備

ファイル、ワークシート、発表資料、パソコン、OHC、プロジェクター

(3) 展開

配時	学 習 活 動	評価 (□) と教師の支援 (◎)
5	1 本日の学習内容を知る。 ・発表するグループを確認する。 ・発表のするときの評価項目を確認する。 ・ワークシートに本時の目標を書く。	◎前時に引き続き発表会をすることを知らせる。 ◎どんなことに注意をすればわかりやすい発表になるか考えるように促す。 ◎ワークシートの記入について指示する。
	課題 自分達が調べてきたことをわかりやすく伝えよう	
3 5	2 「国際理解によって私たちにできること」の発表する。 ・司会進行は生徒に任せる。 《発表の流れ》 ①発表時に使用する機器などの準備 ②発表ワークシートに感想や質問、意見を書く ③感想や質問、意見を発表する ・「先進国の教育について」の発表 ・「世界の食文化について」の発表 ・「ハングル文字について」の発表	◎発表を聞いての質問や意見を率直に出し合うように促す。 ◎発表内容や質問・意見が、後期の自分の活動の手がかりになるように促す。
5	3 今日の活動の自己評価・相互評価をする。 ・ワークシートに記入する。	□自分とのつながりで追究したことを、自分の生き方と関連付けて発表している。 (情報発信) □他グループの発表を聞いて、今後の活動の手がかり(参考となる視点)をつかんでいる。 (課題解決)
5	4 次回の活動の確認をする。	◎次回の発表グループを知らせる。